

腹腔鏡下胆嚢摘除術

様

	手術前日（入院） /	手術当日 /	1日目 /	2日目 /	3日目 /	4日目 / 退院
観察		手術後、病棟へ戻り、回復室へ入ります。 熱・脈・血圧などを頻回に測定します。 呼吸に異常がないかを観察します。 	看護師が体温・血圧などを定期的に観察します。 			
安静	制限はありません。 	手術後はベッド上で過ごします。寝返りは行っていただいて結構です。排尿の管が入っていない場合は、回復室に入った3時間後からポータブルトイレに移動できます。 	病棟内を自由に歩けます。最初は看護師が付き添います。 	病院内、制限はありません。 		
食事	消化の良い食事を食べます。 21時以降より絶飲食となります。ただし、2例目以降の方は翌朝6時まで水が飲めます。  	食べ物は一切摂れません。手術後、うがいはできますので看護師に伝えてください。  	朝から水が飲めます。 夕食より脂肪の少ない食事がはじまります。  			
清潔	入浴またはシャワーに入れます。爪の長い人は爪を切ります。   		体を拭くことができます。看護師が傷を観察します。 	シャワーに入ることができます。 		
排泄		手術時に排尿用の管を入れるときもあります。	排尿用の管が入っていた場合は、朝になったら抜き、トイレへ行けます。 			
診察処置		手術後、病棟に戻り回復室に入ります。心電図モニターや、必要時には酸素を使用します。手術後、創部の観察・ガーゼ交換を行います。お腹の傷に管（ドレーン）が入るときもあります。 	朝モニターが外れます。 創部の観察を行います。また、毎日医師の診察があります。 			
検査	手術に必要な追加の検査をすることがあります。		血液検査を行います。 (異常があれば3日目にも検査をします) 			
薬物療法	必要な方は睡眠薬を飲むことができます。詳しくは看護師にお尋ねください。 	手術室で点滴を入れます。 手術時、背中に管を入れます。そこから痛み止めの薬を入れます。その薬だけでは不十分な場合は他の鎮痛剤を使いますので、看護師に伝えてください。 	点滴を終了します。背中の管を抜きます。 傷の痛みが強い場合は痛み止めを飲むことができます。 			
説明	入院中の注意点・手術に関する説明などを看護師が行います。 	医師より手術後の説明がご家族へあります。看護師よりご家族へ手術中の待機の仕方について説明があります。 				退院後の注意点について説明します。 
指導	今後の治療計画についての説明書が手渡されます。 		薬剤師から薬の説明があります。(手術後1日目以降) 栄養士から食事についての説明があります。(手術後1日目以降)  			
目標	1. 手術の目的・麻酔・術後の経過などがわかる。 2. 不安・疑問などを伝えられる。	3. 痛み、吐き気、不安、疑問を医療者に伝えられ、苦痛を最小限に抑えることができる。				4. 退院後の生活がイメージでき、不安や疑問を医療者に伝えることができる。

・わからないことがあれば、遠慮なくお尋ねください。
・症状・状態に応じて予定通りにならないことがあります。その場合は、その都度説明します。